

## 本巣市

岐阜市とその周辺市町(笠松町、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島市、岐南町、北方町)が連携協定を締結し、形成された「岐阜連携都市圏」。さまざまな連携が進められている圏域市町のイチオシ情報をご紹介します。

### 歴史ロマンを感じる!「上保本郷遺跡」企画展開催



▲鍛冶関連遺物

本巣市には、上保地内に「上保本郷遺跡」があります。

この遺跡は、船来山南麓の扇状地上に広がる遺跡で、東海環状自動車道建設に伴い、平成27年から29年まで発掘調査が行われました。調査の結果、埴塙や鞆羽口、鉄滓、砥石といった鍛冶に関わる遺物が出土しました。

今回の企画展では出土品の一部を展示します。会場となる古墳と柿の館には、東海地方最大級の船来山古墳群から出た出土品も展示していますので、当時の文化や生活を想像し、歴史ロマンを感じてみませんか。

圃本巣市役所社会教育課 ☎323-7764

## 教育長コラム 子どもの話

羽島郡二町教育委員会  
教育長 野原弘康

私の小学校長時代の話です。昼休みに児童とバスケットボールをしていました。児童に少し格好良いところを見せてやろうと思い、レイアップシュートを試みました。その瞬間、右足からバシッという音がして激痛が走りました。思わず「やってしまった」と思いました。児童の手前もあり、昼休みが終わるまで、座って遊びを見守っていました。体育館から職員室に戻ろうとしたのですが、右足を地面につけることができず、教頭先生に助けを求めたところ、私の意に反してすぐに救急車を要請してしまいました。

午後の授業が始まる時刻でしたが、全校の児童は、私が乗った救急車を見ていました。私は近くにいた児童に、手のひら前後に動かし「授業が始まるから教室へ戻るように」と合図を送る中、病院へ搬送されました。病院では、「ひどい肉離れ」で全治1ヶ月と診断されました。

その日の夕方のことです。保護者のラインが炎上し、「校長先生が骨折をした。頭から血を流した。入院したようだ。」など様々な情報が飛び交ったようです。どうしてこのような内容になるのか不思議でなりませんでしたが、幸いにも「子どもと遊んでくれていて…」という私への肯定的な思いがあったことを聞き、痛みの方、嬉しかったことも覚えています。

中には「『校長先生は救急車から手を振っていた。』と子どもが言っていた。」との内容もあったようです。大人からすれば、妙な話だと思われるでしょう。きっとその子どもは、私が送った合図を「手を振っていた」という言葉で伝えたのです。発達段階にもよりますが、児童の表現を改めて学んだ時でもありました。

さて、家庭において、子どもが学校での出来事を話し、保護者がじっくりと聞いてあげることはとても大切です。そうした時間をもつことを続けてほしいと思います。しかし、話の中で疑問に思うことや納得のいかないことを聞き、思わず感情が高ぶってしまうこともあると察します。

そうした時は、「子どもからこのような話を聞いたのですが…」と学校に尋ねていただきたいです。

学校では、意図をもって指導していますが、子どもの話から意図や状況が十分に伝わらないこともあります。

学校と家庭、互いの理解を深めるためにも、必要に応じた対話を大切にしたいと思います。そこから育まれる信頼関係が、子どもの健全育成の原点であると思っています。